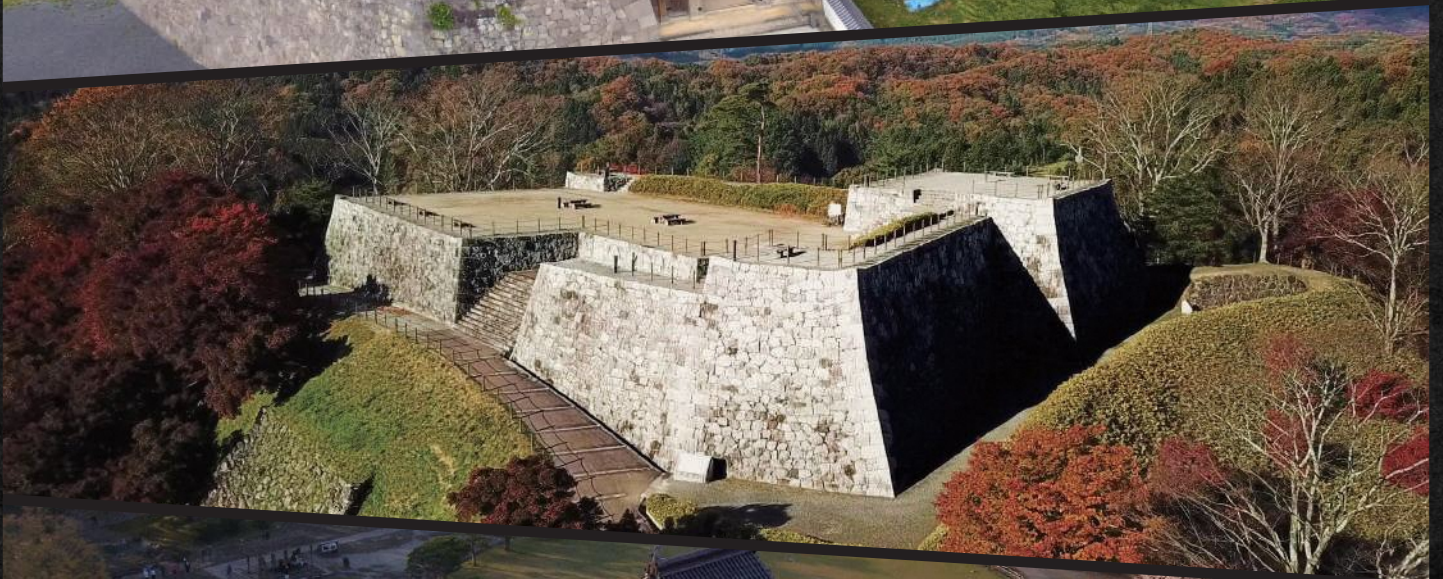


福島

の 戊辰戦争

を歩く

奥羽越列藩同盟の最前線 白河小峰城・二本松城・会津若松城



戊辰戦争の軌跡を巡るモデルルート

白河小峰城の石垣を見上げた瞬間、ここで新政府軍の進軍を食い止めようと考えたことを感じるはず。二本松では、二本松少年隊や大壇口の二勇士の壮絶な戦いぶりを感じることができます。会津若松城の広い郭に立てば、籠城という選択の重さが静かに迫ってきます。三城を歩くことで、諸藩が抗い、崩れ、終焉へ向かった道程を追体験できることでしょう。

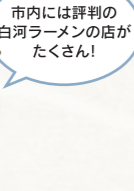
【1泊2日】城郭主軸ルート

1日目

- 白河小峰城
 - 三重櫓 帯曲輪 二ノ丸茶屋
 - 徒歩約5分 (0.2km)
- 小峰城歴史館
- 白河市内
- 稲荷山古戦場
 - 車で約60分 (67.9km)
- 二本松城跡(本丸跡)
 - 車で約5分 (1.1km) (乙森駐車場から)



白河小峰城

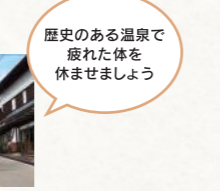


市内には評判の白河ラーメンの店がたくさん!

- 二本松城箕輪門
 - 少年隊群像
 - 徒歩約5分 (0.4km)
- にほんまつ城報館
- 大壇口古戦場
 - 車で約15分 (10.5km)
- 岳温泉宿泊



二本松城



歴史のある温泉で疲れた体を休ませましょう

2日目

- 岳温泉出発
 - 車で約80分 (64.6km)
- 会津若松市内
- 会津若松城
 - 車で約15分 (4.2km)
- 飯盛山
 - 白虎隊記念館
- 飯盛山出発



白虎隊記念館

収蔵品多数。戊辰戦争の歴史をさらに深ぼれる

【2泊3日】完全制覇・理解深化ルート

1日目

- 白河小峰城
 - 三重櫓・帯曲輪・二ノ丸茶屋
 - 徒歩約5分 (0.2km)
- 小峰城歴史館
- 白河市内
- 旧脇本陣「柳屋」跡
 - 車で約10分 (2.3km)
- 稲荷山古戦場
 - 車で約10分 (3.8km)
- 南湖公園
 - 車で約60分 (75.5km)
- 岳温泉宿泊



小峰城歴史館



南湖公園

2日目

- 岳温泉出発
 - 車で約10分 (6.0km)
- 安達太良山
 - 車で約25分 (16.3km)
- 二本松城内
- 二本松城跡
 - 城跡 箕輪門 少年隊群像
 - 徒歩約5分 (0.4km)
- にほんまつ城報館
 - 車で約5分 (2.9km)
- 供中口古戦場
 - 車で約10分 (4.1km)
- 大壇口古戦場
 - 車で約60分 (69.3km)
- 東山温泉宿泊



安達太良山



にほんまつ城報館



東山温泉

文人・墨客にもこよなく愛された湯の街

3日目

- 東山温泉出発
 - 車で約10分 (3.8km)
- 会津若松城内
- 御薬園
 - 車で約5分 (3.0km)
- 飯盛山
 - 白虎隊記念館
- 飯盛山出発



会津若松城



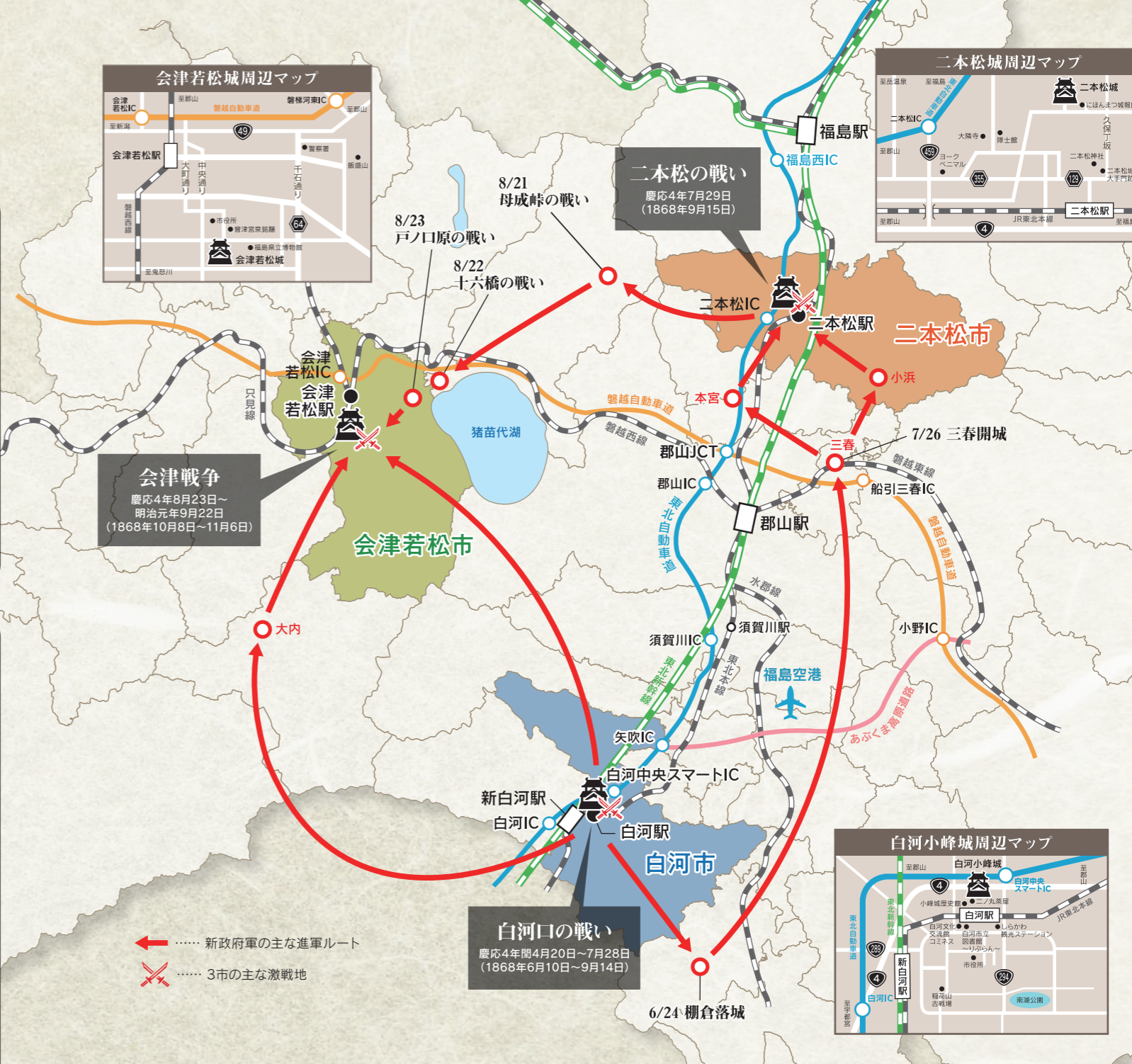
会津のソウルフードソースかつ井は外せない!



御薬園

各エリアへのアクセス

エリア	交通手段	ルート
白河へ	飛行機	札幌→(新千歳空港:約1時間30分)→福島空港 大阪→(伊丹空港:約1時間10分)→福島空港
	鉄道	川口JCT→(東北自動車道:約2時間)→白河IC・白河中央スマートIC 仙台宮城IC→(東北自動車道:約1時間30分)→白河IC・白河中央スマートIC
	飛行機	福島空港→(乗合タクシー:約40分)→県南エリア
二本松へ	鉄道	東京駅→(東北新幹線:約1時間20分)→新白河駅→(東北本線:約3分)→白河駅 仙台駅→(東北新幹線:約50分)→新白河駅→(東北本線:約3分)→白河駅
	飛行機	福島空港→(乗合タクシー:約1時間15分)→県北エリア
	車	川口JCT→(東北自動車道:約2時間45分)→二本松IC 仙台宮城IC→(東北自動車道:約1時間5分)→二本松IC
会津若松へ	鉄道	東京駅→(東北新幹線:約1時間25分)→郡山駅→(磐越西線:約1時間10分)→会津若松駅 仙台駅→(東北新幹線:約40分)→郡山駅→(磐越西線:約1時間10分)→会津若松駅
	飛行機	福島空港→(リムジンバス:約2時間)→会津若松エリア 福島空港→(乗合タクシー:約1時間20分)→会津若松エリア
	車	川口JCT→(東北自動車道:約2時間30分)→郡山JCT→(磐越自動車道:約40分)→会津若松IC 仙台宮城IC→(東北自動車道:約1時間20分)→郡山JCT→(磐越自動車道:約40分)→会津若松IC



← 新政府軍の主な進軍ルート
 ✂ 3市の主な激戦地

三城が語る 戊辰戦争

慶応4年戊辰戦争勃発

慶応3年(1867)10月、15代将軍徳川慶喜が大政奉還を行うと、薩摩・長州藩を中心とする勢力は「王政復古」を実行し、天皇のもと政治を行う新政府を樹立しました。

しかし、慶喜側の巻き返しに危機感を抱いた薩摩・長州藩等は、慶応4年(1868)1月3日、京都で旧幕府勢と戦いを起こし、戊辰戦争が始まりました。

京都で勝利した新政府軍は、朝敵となった慶喜や会津藩主松平容保らの討伐に向かいました。江戸城は4月に開城しますが、東北では会津藩や、仙台藩・米沢藩など会津救済を訴える諸藩が結成した奥羽越列藩同盟との戦争が起こりました。

「内戦は深い傷を残した。しかしそこから立ち上がり、苦しみの先に未来を見つめた人々が、やがて新しい国づくりに向けて歩き出していく」

大河ドラマ「八重の桜」での印象的なナレーションです。百数十年前に起きた、国を二分した内戦はどのような運命をたどったのでしょうか。このパンフレットでは、会津藩や奥羽越列藩同盟が時代のうねりに立ち向かった軌跡を辿ります。

日本百名城にも選ばれた白河小峰城、二本松城、会津若松城。陸奥南部に築かれたこれらの名城は幕末・戊辰戦争の舞台としても知られ、実際に戦闘を経験した数少ない近世城郭です。日本の時代が変わる瞬間、幕末の緊張と覚悟が感じられる三城をご案内します。

白河小峰城

【白河口の戦い】慶応4年(明治元年)閏4月20日～7月28日
(1868年6月10日～9月14日)

主要部を石垣で築いた、東北有数の石垣づくりの城郭です。城の象徴的存在であり、天守の役割を果たしたとされる三重櫓と、本丸の表玄関である前御門は、かつての城主松平定信時代に実測も行い作成した絵図をもとに木造で復元されています。

[所在地]白河市郭内 [時間]小峰城三重櫓:4~9月 9:00~17:00 / 10~3月 9:00~16:00 ※12月29日~1月3日の6日間は休業 [アクセス]車:東北自動車道 白河IC・白河中央スマートICから約10分/公共交通機関:白河駅から徒歩で約5分



平成3年・同6年に復元された三重櫓・前御門

三重櫓は平成の城郭木造復元ブームの先駆け

松平定信が遺した「白河城御櫓絵図」と、発掘調査の成果に基づき、清水門の復元工事も進められています。(令和9年完成予定)



CGによる復元イメージ



白河市 x 戊辰戦争 もっと知る

1. 棚倉藩阿部内膳之墓

常宣寺には棚倉藩士で、白河口の戦いにおいて城下町東側の桜町口を守った十六人組(誠心隊)の隊長阿部内膳の墓があります。甲冑姿で指揮を執り、戦死しました。その奮戦は「十六ささげ」の名とともに語り継がれています。

[所在地]白河市向新蔵136(常宣寺墓地) [時間]常宣寺9:00~17:00



Google map

2. 旧脇本陣「柳屋」跡

本町は、本陣・脇本陣をはじめとし、宿屋が多く立ち並ぶ町でした。脇本陣柳屋は戊辰戦争時に新選組・斎藤一らが宿泊し、明治14年(1881)の明治天皇巡幸時には蔵座敷が休泊所となりました。

[所在地]白河市本町66番地 [時間]見学10:00~16:00 / 貸館8:00~20:00(事前申し込みが必要です) [休]月(祝日の場合は翌火)・年末年始(12/28~1/4)



Google map

3. 長州大垣藩戦死六名墓

慶応4年(1868)閏4月25日の戦いで戦死した長州、大垣藩将兵6名の墓。明治9年(1876)6月に明治天皇が、同41年に東宮嘉仁親王(のちの大正天皇)が立ち寄りました。

[所在地]白河市松並 [時間]見学自由



Google map

4. 田邊軍次君之墓

会津(斗南)藩士田邊軍次は、白河口の戦いで新政府軍の道案内をした白坂の太平八郎を仇と考え、明治3年(1870)白坂宿でこれを討ち、その後自害しました。当初白坂に葬られました。後にこの地に改葬されました。

[所在地]白河市松並 [時間]見学自由



Google map

5. 戦死墓・銷魂碑

戊辰戦争白河口の戦いの中で最大の激戦地であった稲荷山のみもとには、地元で建てた「戦死墓」や、会津藩若年寄・横山主税、海老名衛門ら304名の戦死者の名が刻まれた「銷魂碑」が建てられています。

[所在地]白河市松並 [時間]見学自由



Google map

6. 稲荷山古戦場

稲荷山は白河の城下町へ至る江戸側の入り口に位置し、白河口の戦いにおける同盟軍重要な陣地で、会津藩など諸藩兵が守っていましたが、新政府軍の攻撃により陥落しました。現在は公園として整備され、戊辰戦争の戦没者を供養する慰霊碑が建てられています。

[所在地]白河市九番町西裏 [時間]見学自由



Google map

少し足を伸ばして



南湖公園

白河藩主・松平定信が享和元年(1801)に「士民共楽」の理念により築いた地です。大正時代に国の史跡名勝に指定されました。

[所在地]白河市南湖 [アクセス]車:東北自動車道 白河IC・白河中央スマートICから約10~15分/公共交通機関:白河駅からJRバスで約20分(南湖公園)下車。徒歩約3分



白河関跡

白河関は、奈良・平安期に人や物資の検問所として機能したと考えられています。後に歌枕として知られ、多くの歌人・俳人が訪れた歴史の地です。

[所在地]白河市旗宿岡ノ森 [アクセス]車:東北自動車道 白河IC・白河中央スマートICから約20~30分/公共交通機関:白河駅からJRバスで約30分(白河の関)下車。徒歩約5分



南湖神社

大正11年(1922)、渋沢栄一の援助を受けた地元有志により創建。松平定信を祀り、学業成就・縁結びの神として信仰されます。春にはご神木で定信の号を冠した染桜(紅枝垂桜)が咲きます。

[所在地]白河市菅生館2 [アクセス]車:東北自動車道 白河IC・白河中央スマートICから約15分/公共交通機関:白河駅からJRバスで約20分(南湖公園)下車。徒歩約14分



翠楽苑

日本文化の伝承を体現する施設として造られた日本庭園。書院造の「松楽亭」では、庭園を眺めながら呈茶(抹茶と生菓子)が楽しめるほか、貸切利用も可能です。

[所在地]白河市五郎窪山45-1 [休]12~2月:第2水/3-7月:第2水、木、年末年始 [アクセス]車:東北自動車道 白河IC・白河中央スマートICから約15分/公共交通機関:白河駅からJRバスで約20分(南湖公園)下車。徒歩約14分

お城コラム

石垣を多用した城・小峰城の 特徴的な石の積み方



本丸南面の石垣には、「落積(おとしづみ)」と呼ばれる技法が用いられ、半同心円状の特徴的な石積みが見られます。その他にも、城内の各所には時代ごとに違った、さまざまな技法によって積まれた石垣を見ることができます。

三重櫓内で 見られる弾痕

三重櫓復元に使われた木材は、戊辰戦争の激戦地であった市内の稲荷山から切り出されました。木材には当時の銃の弾の痕が残っており、戦況を生々しく今に伝えています。



奥羽越列藩同盟が 死守しようとした「東北の関門」

東北と関東の境界、交通・軍事の要衝に築かれた白河小峰城は、奥羽越列藩同盟にとって南からの敵の侵入を防ぐ最前線拠点であり、ここを失うことは奥羽全体が戦場となることを意味していました。戊辰戦争における「白河口の戦い」は、同盟軍が新政府軍と初めて本格的に激突した戦いの舞台となりました。小峰城の陥落は、奥羽越列藩同盟崩壊への序章となりました。およそ100日間にわたる白河の戦いにおける戦死者は、同盟軍927人、新政府軍113人とされています(記録によって相違)。白河の人々は戦死者を手厚く弔い、哀悼の気持ちを表した碑を建て、同盟軍・新政府軍を問わず、今も香華を手向けています。

史跡を巡るのに 便利!

こみねっと(市循環バス)

利用料金 / ●1回乗車につき おとな200円(中学生以上) こども100円(小学生)、乳幼児無料

運行日 / 月曜日~土曜日

路線バス

●福島交通(株)白河営業所 TEL:0248-23-3151

●ジェイアールバス関東(株)白河支店 TEL:0248-24-0489

EV(電気自動車) シェアリングサービス

貸出場所 / しらかわ観光ステーション

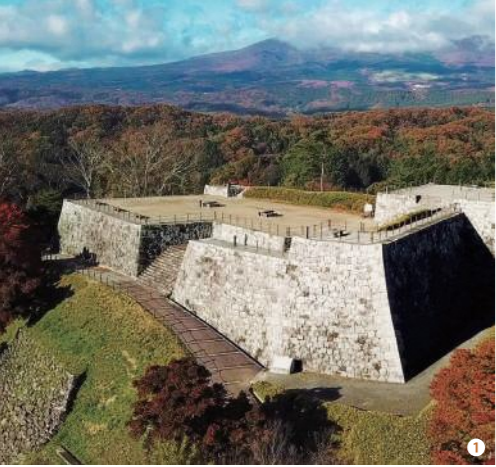
申込方法 / 申込方法等は、HPを参照ください。

二本松城

【二本松の戦い】慶応4年(明治元年)7月29日
(1868年9月15日)

日本百名城の1つに数えられている平山城。戊辰戦争では、旧幕府軍(東軍)の要衝として位置づけられ、隣藩会津への義に殉じて戦火に巻き込まれました。現在は公園として整備され、園内には多くの見どころがあります。

【所在地】二本松市郭内三丁目・四丁目 【時間】見学自由 【アクセス】車:(霞ヶ城公園第一駐車場)東北自動車道 二本松ICから約5分/公共交通機関:二本松駅から徒歩約20分



三ノ丸地下では集水樹や排水路が確認され、集水樹は箕輪門西脇の高石垣吐水口につながっている。吐水口付近の石垣は白くなっているのを見つけてみよう!

本丸南直下の大石垣は約13.5m。現存する織豊時代の石垣で日本最大の規模です。



1. 本丸石垣

平成7年6月に修築復元した本丸石垣。本丸石垣(天守台)からは市内一円を見渡すことができます。本丸南直下の大石垣は城内最古とされ高さ約13.5mにも及び、自然石をそのまま利用した「野面積み」を間近に観ることができます。

【所在地】二本松市郭内四丁目 【時間】見学自由 ※車でお越しの場合、乙森駐車場へは途中道幅の狭い砂利道のため走行注意。



2. 箕輪門

城内整備のために御殿と共に最初に建造した櫓門。『箕輪門』の名の由来は、支柱材料の巨木が二本松藩領内の箕輪村山王寺山のご神木を用いたことによるものとされています。

【所在地】二本松市郭内三丁目 【時間】見学自由



3. 大手門跡

奥州道中に面した久保丁口に築造された二本松城の大手門、通称「坂下門」。初代藩主丹羽光重が大手門の築造を望んだものの、藩の財政状況等で実現に至りませんでした。その後9代藩主丹羽長富の代に、歴代藩主悲願の大手門が築造されました。

【所在地】二本松市本町一丁目 【時間】見学自由



4. 大壇口古戦場

大壇口古戦場は二本松少年隊奮戦の地。二本松城下の戦いの主戦場であり、数え年12~17歳までの現代の小学生~高校生で編成された二本松少年隊が戦った最重要陣地です。

【所在地】二本松市向原内地内 【時間】見学自由



5. 供中口古戦場

二本松藩の農兵司令士・三浦権太夫義彰戦死の場。老兵・農兵、少年隊の一部を率いて出陣しましたが、勝敗の帰結は早く、「あす散るも色は変らじ山桜」と辞世の一句を残して、独り壮烈な自刃をとげた場所です。

【所在地】二本松市榎戸二丁目 【時間】見学自由



6. 二本松少年隊

二本松少年隊は戊辰戦争の際、二本松藩によって編成された少年兵の部隊です。数え年12~17歳の藩士子弟で構成され、慶応4年(1868)の戦いで奮戦しましたが、多くの若い命が失われました。その悲劇は現在も語り継がれています。

【群像の所在地】二本松市郭内三丁目 【時間】見学自由



お城コラム

日本最大級の大石垣が見守る 二本松城跡の魅力

二本松城跡の本丸南直下にある大石垣は、蒲生氏郷配下の穴太衆によって二本松城で最初に築かれた石垣です。その高さはなんと約13.5mあり、織豊時代の現存する石垣では日本最大級です。同時期の会津若松城天守台石垣が10.9m、肥前名護屋城の石垣が12.5mであることと比べても、この大石垣の規模が際立っています。また、城内では様々な時期の石垣が変遷していく過程を見ることができることも魅力の一つです。

各時代の石垣を見られることから「石垣の博物館」とも称されます。



加藤時代に築かれた三ノ丸高石垣①

加藤時代に築かれた三ノ丸高石垣②

奥羽越列藩同盟軍の主要防衛拠点

二本松城跡は、中世から近世にかけて同じ場所所で存続した東北では稀有な城跡です。 応永21年(1414)に畠山氏が築城したとされており、豊臣秀吉の奥州仕置以後は会津領に組み入れられ、蒲生・上杉の支城として城代が置かれました。その後松下・加藤氏を経て、寛永20年(1643)に丹羽光重が入封し、以後、二本松藩の居城として

明治維新に至りました。このように中世から近世にかけて奥州の要としての位置を占めた二本松城は、奥羽越列藩同盟軍で新政府軍の北進を阻む防衛拠点でもありました。中世から近世への築城技術の変遷を知ることができる重要な城跡であるとともに、奥羽越列藩同盟軍が連携して戦った証を今に伝える城跡です。

少し足を伸ばして



二本松の菊人形

藩政時代から菊の愛好者が多かった二本松ならではの菊の祭典。色とりどりの菊と公園の紅葉が楽しめる。

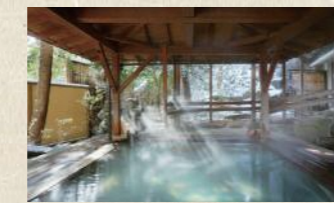
【所在地】二本松市郭内三丁目 【時間】9:00~16:00 開催期間中無休 【アクセス】車:(霞ヶ城公園第一駐車場)東北自動車道 二本松ICから約5分/公共交通機関:二本松駅から徒歩約20分



安達太良山

春から秋にかけてトレッキング、夏の期間限定イルミネーション、秋は紅葉、冬はゲレンデと年間を通して楽しむことができる日本百名山!

【所在地】二本松市永田字長坂園有林 【アクセス】車:(あだたら高原リゾート駐車場)東北自動車道 二本松ICから約25分/公共交通機関:二本松駅から路線バスで約45分【奥岳】下車。※運行便要確認



岳温泉

全国でも珍しい「酸性泉」の温泉。安達太良山の源泉から、約40分かけて温泉街まで引き湯しています。

【所在地】二本松市岳温泉 【アクセス】車:東北自動車道 二本松ICから約13分/公共交通機関:二本松駅から路線バスで約30分【岳温泉】下車。



東北サファリパーク

野生の王国には、ライオン・トラ・象・キリン等、約700頭羽の動物たちが暮らしています。

【所在地】二本松市沢松倉1番地 【時間】9:00~16:30(土日祝は17:00) 【休水・他】 【アクセス】車:東北自動車道 二本松ICから約15分/公共交通機関:二本松駅から路線バスで約20分【東北サファリパーク前】下車。徒歩すぐ

史跡を巡るのに便利!

バスロケーションシステム

電動アシスト付自転車(有料)

バスロケーションシステム

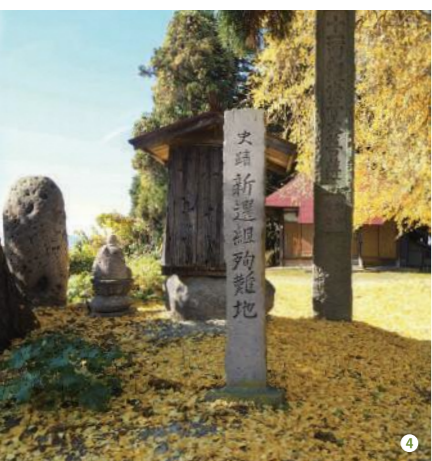
路線バス

●福島交通(株) 二本松営業所 TEL:0243-23-0123



貸出場所/ にほんまつ城報館2階 観光情報館 申込方法/ 申込方法等は、HPを参照ください。 お問い合わせ/ にほんまつ城報館 TEL.0243-22-6630





会津若松城

【会津戦争】慶応4年8月23日～明治元年9月22日
(1868年10月8日～11月6日)

戊辰戦争では会津藩主以下藩士やその家族たちが一か月にわたり籠城しました。明治7年に取り壊されましたが昭和40年に再建し、平成23年には「赤瓦」へのふき替えが完了。幕末当時の姿を再現し、現在見られるなかでは国内唯一の赤瓦の天守閣です。

[所在地]会津若松市追手町1-1 [時間]見学自由。天守閣への入場は8:30～17:00(入場締切16:30) [アクセス]車:磐越自動車道 会津若松ICから約20分/公共交通機関:まちなか周遊バス ハイカラさん・あかべえバス停「鶴ヶ城入口」下車。徒歩約5分。

会津若松市×戊辰戦争
もっと知る



木製の門扉の表面を鉄板で覆い、燃えにくくしている。城外からの攻撃も受けにくい場所となっていて戊辰戦争の籠城戦においては、松平容保はここで指揮を執ったといわれている。

江戸時代に寒冷地にも耐えられるように改良され、その結果赤茶色となった瓦。

現在も会津若松市のシンボルとして親しまれる会津若松城。「飯盛山」から望む城下の景色も必見です。

1. 御薬園

元は会津領主の別荘として造られ、後に薬草園となった庭園です。戊辰戦争時は新政府軍の療養所となり、戦火を免れたため現在も当時の姿を残しています。



[所在地]会津若松市花春町8-1 [時間]8:30～17:00(16:30入園締切)

Google map

2. 旧滝沢本陣

参勤交代や領内巡視時の藩主の休息所。戊辰戦争では当初前線基地となり、白虎隊もここから出陣。茅葺き書院造の建物は国指定重要文化財です。



[所在地]会津若松市一箕町滝沢122 [時間]4～9月 9:00～17:00 / 10～11月 9:00～16:00 / 12～3月 要予約

Google map

3. 飯盛山

飯盛山は、戊辰戦争で白虎隊士中二番隊が自決した地。白虎隊十九士の墓、各地で戦死した三十一士の墓などが建てられています。春秋の墓前祭では白虎隊を偲ぶ剣舞が奉納されます。



[所在地]会津若松市一箕町八幡弁天下 [時間]見学自由 ※さざえ堂、動く坂道・スローコンベアや土産店は営業時間あり。事前にご確認ください。

Google map

4. 如来堂

新選組殉難の地。母成峠の戦いに敗れた後も、会津に留まることを決意した斎藤一らは、如来堂を拠点にして、城下に進出した新政府軍と激しい戦いを繰り広げました。



[所在地]会津若松市神指町如来堂 [時間]見学自由

Google map

5. 甲賀町口門跡

戊辰戦争で新政府軍が最初に攻め込んだ激戦地です。松平容保や家老田中土佐らが守備を指揮しましたが突破され、ここから約一か月の籠城戦が始まりました。



[所在地]会津若松市栄町4-49付近 [時間]見学自由

Google map

6. 降伏式の場 (内藤邸・西郷邸の間)

会津戦争の約一か月の籠城戦ののちに行われた降伏式の場所として案内板が立てられています。



[所在地]会津若松市追手町(鶴ヶ城の北側、北出丸交差点付近) [時間]見学自由

Google map

少し足を伸ばして



長命寺

戊辰戦争の会津若松市街戦で激戦地となり、145名の会津藩士が埋葬された東軍墓地があります。現在も土塙には当時の弾痕が一部残り、戦火の激しさを伝えています。

[所在地]会津若松市日新町5-51 [時間]見学自由 [アクセス]車:磐越自動車道 会津若松ICから約10分/公共交通機関:路線バス「桂林寺町」下車。徒歩約10分



阿弥陀寺

かつて鶴ヶ城本丸にあった御三階は、戊辰戦争で焼失した本堂の代わりとして明治3年にこの寺へ移築されました。境内には新選組の斎藤一の墓や、旧幕府側の戦没者を祀る東軍墓地があります。

[所在地]会津若松市七日町4-20 [時間]見学自由 [アクセス]車:磐越自動車道 会津若松ICから約20分 ※近くの有料駐車場「七日町浪漫デッキ」をご利用ください。/公共交通機関:まちなか周遊バス ハイカラさん・あかべえバス停「七日町駅前」下車。徒歩約10分



天寧寺

東山温泉に湯治に訪れていた新選組副長の土方歳三が、局長・近藤勇の墓碑建立をこの地に松平容保に願い出て、戒名も贈られたと伝わります。ほかに、戊辰戦争で会津藩の責任を一身に背負い自刃した家老藍野権兵衛の墓などもあります。

[所在地]会津若松市東山町石山天寧208 [時間]見学自由 [アクセス]車:磐越自動車道 会津若松ICから約15分/公共交通機関:まちなか周遊バス ハイカラさん・あかべえバス停「双郎ヶ前」下車。徒歩約15分



善龍寺・奈与竹の碑

籠城戦が始まる際、足手まといになるまいと一族で自刃した西郷頼母一家は、開城後、善龍寺である善龍寺に埋葬されたと伝わっています。戊辰戦争で亡くなった会津藩の婦女子233名の名が刻まれた「なよたけの碑」が建てられ、毎年5月1日には碑前祭が営まれています。

[所在地]会津若松市北青木13-33 [時間]見学自由 [アクセス]車:磐越自動車道 会津若松ICから約20分/公共交通機関:路線バス「青木」下車。徒歩約10分

廊下橋

本丸と二ノ丸をつなぐ橋で、築城当時は屋根や壁が付いた廊下のような橋であったと伝わります。橋は東方向から本丸に入る唯一のルートになり、有事の際には本丸に敵兵を入れないように橋脚を切り落としたり、本丸側から橋を渡る敵兵を攻撃したりできるなど大変堅固な構造となっています。さらに本丸側の石垣は、高さ約20mの扇の勾配といわれる曲線美をもつ高石垣が見られ、この場所は古くから城内一番の景地として有名でした。



会津戦争後の鶴ヶ城天守

戊辰戦争終結後の明治5年ごろに撮影された古写真からは、新政府軍の砲撃により天守閣が無残な姿となり荒れはてた様子が見え、一か月に及ぶ籠城戦がいかに過酷なものだったかを物語っています。新政府軍は南東に位置する小田山の中腹をはじめ、城を取り囲むように大砲を据えて砲撃を浴びせ、特に9月14日の総攻撃では城内でも多くの死傷者を数えました。

お城コラム

新政府軍により「朝敵」と位置づけられた会津藩と庄内藩を助けるために結ばれた東北諸藩(のちに越後の一部も加わる)のつながりは、やがて新政府軍に抵抗する軍事同盟へと姿をかえていきました。旧幕府軍の主力ともいえる会津藩の本拠地である会津城下での戦

自らの正義に殉じた会津藩の城

いは、一か月の籠城戦が繰り返されました。新政府軍から最大の標的とされての猛攻は苛烈を極め、会津藩も必死に抵抗しましたが、9月22日に降伏開城するに至りました。武士の時代の終焉の舞台となったこの地には、赤瓦が映える美しい天守が往時をしのばせます。

史跡を巡るのに便利!

会津若松まちなか周遊バス ハイカラさん/あかべえ

会津若松市内の観光スポットを循環運行するバスです。史跡巡りに、名物を食べ歩いたり、まちなか周遊バス「ハイカラさん」と「あかべえ」を上手に使って、会津をお楽しみください。

利用料金/●1回乗車につき おとな250円/子ども130円
●1日フリー乗車券も便利! おとな700円/子ども350円
※ハイカラさん・あかべえどちらも乗車可能です。

お問い合わせ/会津バス本社 TEL 0242-22-5560(平日8:30～18:00)
会津バス若松営業所 TEL 0242-22-5555(7:00～21:00)

周遊バスの詳細はこちら



会津バス

城と歴史の余韻にひたる 城下町グルメ



白河ラーメン

白河は全国的にも知られるラーメン処で、白河市近郊には約100軒の味自慢の店があります。コシがある手打ちのちぢれ麺と、味わい深いスープが絡み合い絶妙な風味を醸し出します。それぞれの店主が職人気質で、こだわりの美味しさを追求し、白河のラーメン文化を築いています。

だるまバーガー

安心・安全にこだわった地産地消のご当地バーガー。白河産の米粉を100%使用したパンズは、ふっくら・もちもちとした食感。ほんのりカレー風味の白河高原清流豚が食欲をそそります。

二ノ丸茶屋

[所在地]白河市郭内1(城山公園内) [時間]ランチ11:00~(L.O.14:00) [休]水(11月~3月)、年末年始臨時休業の場合あり [アクセス]車:東北自動車道 白河IC・白河中央スマートICから約10分/公共交通機関:白河駅から徒歩で約5分

- …白河市
- …二本松市
- …会津若松市



白河そば

白河そばは、約200年前に白河藩主・松平定信が冷害に強いそばの栽培を奨励したことが始まりとされています。小皿に盛ったそばを具材とともに味わう割子そばが代表的で、打ち方やつなぎ、つゆに独自の技と伝統が受け継がれています。



だるまの顔の焼印は、南湖神社で開運祈禱をしたもの。運気アップも期待大!



白河だるま

顔全体が福々しく肩には鶴、ひげは亀、あごひげは松、ひんひげは梅が描かれ、さらに顔の下には竹を模様化した「鶴亀松竹梅」を取り入れた縁起の良いだるま。毎年2月11日に開催される「白河だるま市」には、多くの方が白河だるまを買い求めにやってくる。

佐川だるま製造所

[所在地]白河市横町81 [時間]9:00~18:00 [休]不定休 [アクセス]車:東北自動車道 白河IC・白河中央スマートICから約10分/公共交通機関:白河駅から徒歩で約9分

だるまランド

[所在地]白河市横町30 [時間]10:00~17:00 [休]不定休 [アクセス]車:東北自動車道 白河IC・白河中央スマートICから約10分/公共交通機関:白河駅から徒歩で約9分

ランチ(ちらし寿司)

こだわりの新鮮な旬の魚介類を提供しています。素材の持つ本来の味をご堪能ください。

鮎富

[所在地]二本松市若宮二丁目159-18 [時間]11:30~22:30 [休]火 [アクセス]車:東北自動車道 二本松ICから約2分/公共交通機関:二本松駅から徒歩で約11分



チーズケーキプレート

「こんなおいしいチーズケーキは食べたことない!」と大評判。8~10種類のチーズケーキや地元産の牛乳を使ったプリンなどを販売しています。

チーズケーキ工房&カフェ風花

[所在地]二本松市大岡438-7 [時間]11:00~17:30 (L.O.17:00) [休]木 [アクセス]車:東北自動車道 二本松ICから約13分/公共交通機関:二本松駅からタクシーで約17分



リーズナブルなのに新鮮&ボリュームがあってお得なランチ!

おまかせ海鮮丼

市場から直接仕入れた旬の鮮魚を是非ご賞味ください。

あいおい

[所在地]二本松市郭内一丁目195-1 [時間]11:30~13:30、17:30~21:00 [休]月(祝日の場合は翌平日) [アクセス]車:東北自動車道 二本松ICから約4分/公共交通機関:二本松駅から徒歩で約18分



ソースカツ丼

ソースの味はもちろん、丼ぶりからはみ出るほどの大きなカツや、極厚なカツ、卵としなど…お店によって異なる味わいを楽しめます。ぜひ、お気に入りのお店を見つけてみてください。

わっぱめし

「わっぱめし」は、杉や桧の薄板を曲げて作った伝統工芸品「曲げわっぱ」に、ご飯と旬の食材を盛り込み蒸し上げた郷土料理です。蓋を開けた瞬間に広がる香りと熱々の湯気が、食欲をそそります。山菜やキノコ、鮭などの山の幸・海の幸の旨みがご飯に染み込み、ふっくらとした優しい味わいが楽しめます。



赤べこ

疫病退散や回除けのお守りとして親しまれている赤べこは、お店によってフォルムや顔が異なるので、お気に入りを見つける楽しみも。自分だけの赤べこを作る絵付け体験ができるお店も市内に点在しています。

南湖公園には南湖回子の店が数箇所あるので好みの回子が見つかるかも



南湖だんご

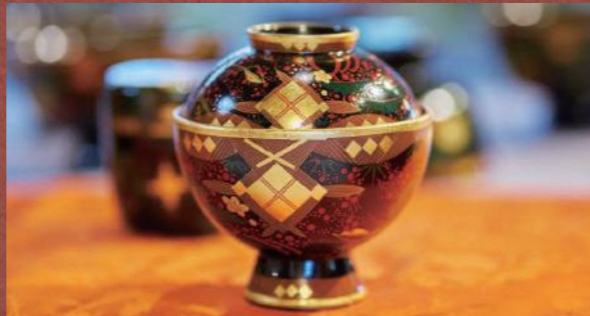
国指定史跡名勝・南湖公園の名物といえば「南湖だんご」。店ごとに工夫をこらし、こしあん・みたらし・味噌・ごまなど種類豊富です。南湖散策の途中に立ち寄りてみては。

玉羊羹

昭和初期に二本松で誕生し、現在も市を代表する名物菓子として愛される「玉羊羹」。ゴム容器に包まれた丸い羊かんにつまようじを刺すと、ゴムがつるんとむけて、つまようじの先に玉羊羹が残る…というユニークな食べ方も人気のポイントです。

会津漆器

会津漆器は、戦国時代からの歴史を持つ会津の伝統工芸品。日常使いのお箸や汁椀から高級な重箱まで幅広く、現代の食卓にも馴染む美しさと実用性を兼ね備えています。見るだけでなく、漆の絵付けや削り出しを体験できるお店も。職人の丁寧な指導を受けながら自分だけの漆器を作ることができます。



馬刺し

脂肪が少なく、肉本来の濃厚な旨みと柔らかな食感が特徴で、辛味噌と食べるのが会津スタイル。会津の馬刺しの歴史は、昭和初期にプロレスラーの力道山がこの地を訪れ、持参した辛子味噌で生食したのが始まりと伝えられています。低カロリーで滋養強壮にも優れた、お土産にも人気の逸品。

会津の食文化を語る上で欠かせないのが、全国的にも珍しい「赤身」を尊ぶ馬刺し



鉄砲玉(黒玉飴)

昔ながらの手法でつくられている勝田屋のてっぽう玉。心もからだもほっとする甘さです。

菓子処 勝田屋

[所在地]二本松市根崎二丁目188-1 [時間]8:30~18:00 [休]月 [アクセス]車:東北自動車道 二本松ICから約7分/公共交通機関:二本松駅からタクシーで約7分



洗心亭(最中)

二本松城内にある丹羽家の茶屋「墨絵の茶屋」をイメージした和菓子。他にも二本松にまつわるお菓子を提供しています。

菓子処 日夏

[所在地]二本松市本町一丁目203 [時間]8:00~19:00 [休]年中無休 [アクセス]車:東北自動車道 二本松ICから約4分/公共交通機関:二本松駅から徒歩で約5分



酒造りに適した気候・米・水と伝統の技により品質の高い日本酒が造られます

日本酒

会津は、清廉な水と良質な米に恵まれた酒どころとして知られ、芳醇で旨口な地酒が揃います。歴史ある蔵元を訪れ、試飲をしながら選ぶのも楽しみの一つ。



だるま最中

白河の産産であるだるまをモチーフにした手のひらサイズのだるま最中。中に小倉あんや求肥が入っていて、ぱりとした皮の香ばしさがたまりません。

白河菓匠 大黒屋本店

[所在地]白河市中町44 [時間]9:00~17:00 [休]土日 [アクセス]車:東北自動車道 白河IC・白河中央スマートICから約11分/公共交通機関:白河駅から徒歩で約5分

城巡りの記憶を包む 城下町みやげ



スタンプを
全て集めて
三城を制覇!

「福島戊辰戦争を歩く」 三城特別記念スタンプラリー



白河小峰城



二本松城



会津若松城

スタンプ設置場所

【白河小峰城スタンプ】二ノ丸茶屋

【二本松城スタンプ】にほんまつ城報館 2F

【会津若松城スタンプ】鶴ヶ城観光案内所

注意事項

※スタンプの設置時間・場所はそれぞれの施設のご都合にお任せしています。時間外や休館中に訪れてスタンプの押印を強要したり、押印できないことへの苦情を施設にしないようお願いします。必ず訪問前に休館日・設置時間・設置場所をご確認ください。マナーを守ってスタンプラリーをお楽しみください。

インフォメーション

発行：ふくしま三城戊辰史跡巡り実行委員会

白河市役所観光課

〒961-8602 福島県白河市八幡小路7番地1

TEL:0248-28-5526

二本松市役所観光課

〒964-8601 福島県二本松市金色403番地1

TEL:0243-55-5122

会津若松市観光課

〒965-8601 福島県会津若松市東栄町3-46

TEL:0242-39-1251



白河市
HP



二本松市
HP



会津若松市
HP